

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横須賀市療育相談センター 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	R8年1月5日		～ R8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○訪問先施設評価実施期間	R8年1月5日		～ R8年3月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門スタッフがいるセンターの特徴を活かし、より専門的な支援が園と利用者に出る。支援に対する満足度が高い。	・専門性、経験のある職員がチームで取り組んでいます。 ・お子さんが園で活動する様子や育つ過程を、訪問先施設と丁寧に共有することを心がけています。先生方の悩み等を共有し、具体的かつ環境に合わせた実現可能なアドバイスをを行っています。	・専門性を職員それぞれが磨き、有効なチーム支援ができるよう取り組んでいます。 ・引き続き、常にお子さんを中心に考え、保護者のニーズ、訪問先のニーズを丁寧に捉え、情報を共有し、お子さんのよりよい過ごしになるよう取り組んでいます。
2	通園施設と保育所等訪問支援を併用して利用できる。	通園施設で使用している物品を持参したり、園で使用する椅子や文房具などの工夫を具体的にアドバイスすることができます。それぞれの様子が把握できるので情報共有がしやすいです。	それぞれの環境下で過ごすお子さんのアセスメントを丁寧に実施し、必要な支援を検討していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業の取り組みについて、周知が十分ではない。	パンフレットや市の印刷物に記載はしていますが、積極的な発信、周知のレベルには達していません。	施設側や保護者から希望していただけるように、様々な場面で周知に努めるとともに、広く情報が届くような有効な手段についても検討していきたいと考えます。
2	保育所等訪問支援事業の職員研修が十分ではない。	保育所等訪問支援のみを実施している体制ではなく、広く療育支援を実施している関係から時間等の確保が難しい現状があります。	センター開所以来、地域の幼稚園、保育園に伺い、支援が必要なお子さんの巡回相談に積極的に取り組んでいます。今後も実際の場面を通して、各々専門職がスキルアップをしていきます。また、保育所等訪問支援に取り組んだ実績を所内でも共有します。
3			